



伝統と今を大切にする

# 堅川中だより

第8号

令和7年12月1日  
墨田区立堅川中学校  
発行 校長 稲垣 吉実

## 「大海を知る蛙になろう！」

校長 稲垣 吉実

今年も残すところあと一カ月となってしまいました。だいぶ寒さが厳しくなってきましたが、体調管理は大丈夫でしょうか。登校時にまだ半そでの生徒を見かけますが、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への予防対策を是非今後お願いします。

さて、みなさんは、「井の中の蛙、大海を知らず」という言葉を知っていますか？これは「狭い世界にとどまっていると、もっと広い世界や可能性を知らないままになってしまう」という意味です。井戸の中にいる蛙は、外の広い海を見たことがありません。だから、自分のいる井戸が世界のすべてだと思ってしまうのです。

中学3年生のみなさんは、進路を決める大切な時期です。高校に進学する人、専門分野を学びたい人、それぞれの道があります。でも、ここで考えてほしいのは「自分の井戸にとどまっていないか」ということです。

「この学校で十分」「この地域でいいや」と思ってしまうと、本当はもっと広い世界で活躍できる可能性を見逃してしまうかもしれません。進路を選ぶときこそ、視野を広げることが大切です。

そして、受験が近づいています。不安や緊張を感じる人もいるでしょう。でも、その努力は必ずみなさんを強くします。結果だけでなく、ここまで積み重ねてきた努力が、みなさんの財産です。最後まで諦めず、自分を信じて挑戦してください。

もうすぐ冬休みです。そして、新しい年が始まります。新年の抱負として、「井の中の蛙で終わらない」ことを心に決めてください。高校に進学すれば、さらに広い世界が待っています。大学に進めば、もっと多様な価値観に触れ、グローバル社会で活躍する力を身につけることができます。

世界は広く、みなさんの可能性は無限です。未来は、みなさんの勇気ある一歩から始まります。来年は、大海を知る蛙になりましょう。

そして、1, 2年生の皆さんもまずは堅川中という狭い井戸の中でもしっかり基本的な生活習慣を確立した上で生きる力を身につけ、そして先日のふれあい祭りでも活躍してくれたように、自分の地域にしっかり貢献して、足下を固めてから広い世界（大海）へ飛び出してください。それが、みんなの成長につながるものだと思います。来年の干支は午年です。蛙よりもさらに馬のように躍動してまっすぐ前へ進みましょう。

## 豎中生の活躍紹介

◎東京都読書感想文コンクール

○佳作 石垣 香弥

◎美術部

○水道週間作品コンクール 佳作：金井 謙、小原 あずさ

○『心のバリアフリー』普及啓発ポスターコンクール 優秀賞：斉藤 菜々海、山中 悠斗

◎男子バドミントン部 墨田区中学校バドミントン秋季新人大会

○ダブルス 準優勝：加藤 陽人、渡部 時生

○団体戦 準優勝：加藤 陽人、渡部 時生、上埜 恵太、磯部 和史、坂元 圭飛、  
田村 海翔、花川 寛暁、小泉 喜禎

◎女子バドミントン部 墨田区中学校バドミントン秋季新人大会

○団体戦 3位：森實 柚月、工藤 心結、鶴田 愛結羽、高井 彩羽、上大谷 佐帆、  
小代 尊依、秋山 美羽、東 礼里

## 12月の予定

1	月	三者面談始①(3) 二者面談始①(1),(2)
2	火	三者面談②(3) 二者面談②(1),(2)
3	水	三者面談③(3) 二者面談③(1),(2)
4	木	三者面談④(3) 二者面談④(1),(2) 特支区合同球技大会
5	金	三者面談終⑤(3) 二者面談終⑤(1),(2)
6	土	
7	日	
8	月	朝礼(表彰)
9	火	
10	水	定例・代表委員会 すみだいじめ防止の日
11	木	
12	金	中学生区議会 避難訓練
13	土	
14	日	ESAT-J(予備日)
15	月	生徒朝礼
16	火	
17	水	職員会議 NO 残業 DAY
18	木	研究発表
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	冬季休業日前指導 安全指導
26	金	冬季休業日始 学校閉庁日
27	土	
28	日	
29	月	学校閉庁日
30	火	学校閉庁日
31	水	学校閉庁日

※ ( ) 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

## 【1 学年】

15日(土)に開幕した「東京2025デフリンピック」。1学年では19日(水)、東京体育館で行われた、卓球の競技観戦に行っていました。事前に大会の概要や歴史について学び、手話言語をベースにした応援(=サインエール)の練習や応援ボードの作成も行いました。残念ながら、当日は日本人選手の活躍を見ることはできませんでしたが、音が“きこえない・きこえにくい”中でプレイしているとは思えないような迫力を感じることができました。

〈生徒の感想より〉

「本当に耳が聞こえない、聞こえにくいのかと思うくらい、とてもスムーズにレシーブをしたり、味方とコミュニケーションをとったりしていてすごかった。流れるように試合が進んでいって、気がついたら帰る時間になっていた。」

「白熱した試合ばかりでした。会場にはたくさんの大きなモニターがあって、司会の人と話した内容などがモニターに文字起こしされていて、耳が聞こえる人も、聞こえない人も、聞こえづらい人も、どんな人でも観戦を楽しめるように様々な工夫がされていて、すごいと思いました。」



## 【2 学年】

合唱コンクールは今年度、トリフォニーホールでの開催となりました。会場の荘厳な雰囲気によって圧倒された生徒が多くいました。歌い初めこそ、緊張で思うように歌えなかった人も、後半になるにつれていつもの声が出てきたように思います。どのクラスも伸びやかに力強く、それぞれ努力を重ねてきた成果を発揮しようと懸命に歌う姿が見られました。当日に向けて実行委員や指揮者伴奏者などのリーダーを中心に、毎日真剣に練習に取り組む姿が見られました。本当に素晴らしい行事となりました。お忙しい中、たくさんの保護者の方の参観と励ましの言葉を頂きました。ありがとうございました。



## 【3 学年】 新聞記者による自己 PR 作成講座

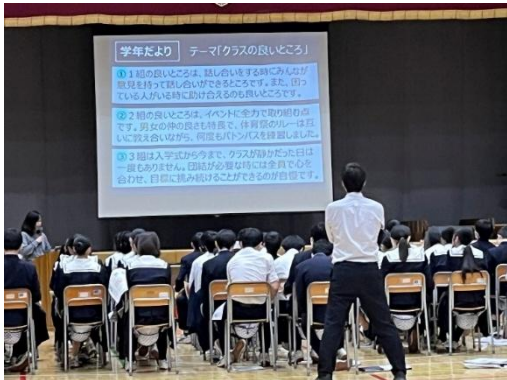
11月21日（金）に特別授業として読売新聞本社の記者、勝俣智子様を講師にお迎え、「自己PRの書き方・伝え方」について学びました。

講座では、取材のプロならではの視点から「相手に伝わる文章のポイント」を教えていただき、生徒たちは真剣な表情で取り組んでいました。

受講後、生徒からは「自分のことを言葉にするのは難しいけれど、楽しかった！」「新聞記者の方からアドバイスをいただき、とても参考になりました！」といった声が聞かれ、充実した時間となりました。今後の自己PRカード作成や面接に活かしていきましょう。

今後こうした学びを進路活動や日常のコミュニケーションに活かしていけるよう、サポートしてまいります。

＜授業の様子を一部、紹介します＞



## 【5 組】

11月27日（木）に、2年生は1～3組の仲間と一緒に、校外学習『TGG（Tokyo Global Gateway）』へ行ってきました。

事前学習で、現地では英語で話さなくてはならないと聞き、かなり不安や緊張が高まっていた中でのスタートでした。エージェントや班のメンバーと自己紹介を行い、少しホッとした表情をしていました。その後は、「アクティブイマージョン・エリア」や「アトラクション・エリア」などで楽しみながら英会話に親しむことができました。

事後の感想に「英語でコミュニケーションがとれた」「英語で話すことが難しかった」「英語で自己紹介ができた」「ジェスチャーでも伝えることが大切だと知った」などの感想があり、とても貴重な体験となりました。

## 【食育】

12月24日の給食は、2種類のメイン料理から1つを選ぶセレクトメニューです。コーンフレーク衣のクリスピーチキンか、ジューシーもも肉の照り焼きチキンです。これは、保健委員の生徒たちで案を出し合ってメニューを決めました。

生徒たちがリアルな意見を出し合って決めたためか、全校で集計すると、ほぼ半々の数となりました。偏りがなかったことから、真剣に悩む楽しみもあったのだろうと推察します。

できるところで生徒の意見を給食に取り入れ、給食のねらいの1つである、楽しい会食の時間を過ごしてもらえればと思います。セレクトメニューの話を生徒としていただき、その日の夕飯ではぜひ、もう片方のようなものを取り入れてみてはいかがでしょうか。